

報道資料

令和5年1月13日(金)

福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:馬場・野坂

電話:0742-27-8653(ダイヤルイン)内線:3110、3111

新型コロナウイルス感染症の院内感染事案(クラスター事案)の発生について (公益財団法人天理よろづ相談所病院白川分院第3報(最終報))

公益財団法人天理よろづ相談所病院白川分院において、これまでに入院患者31名、職員5名計36名の感染が判明しました。感染状況から、入院病棟Aおよび入院病棟Bにおいて院内感染(クラスター)が発生したと考えられます。

これを受け、当該医療機関では病棟の職員及び入院患者に健康観察を行ってきましたが、健康観察期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、院内感染事案は終結し、本日(1月13日)から公益財団法人天理よろづ相談所病院白川分院はすべての病院機能を再開します。

感染拡大の原因は、感染者の早期発見および感染防御策の徹底が不十分であったことと推定しています。

当該医療機関では改めて職員の感染防御策の徹底(手指消毒、マスク着用、PPE(個人用防護具)着用)および職員・患者への健康管理の徹底を行うなどの再発防止策を講じたところです。

1 発生場所

公益財団法人天理よろづ相談所病院白川分院(所在地 天理市岩屋町604)

2 感染者の概要(合計36名)

- ・経緯:入院病棟A 12月12日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から20例の感染を確認。
入院病棟B 12月19日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から14例の感染を確認。

・感染者内訳:入院患者31名、職員5名

20代1名、30代1名、50代3名、60代5名、70代13名、80代11名、90代2名

	入院病棟A	入院病棟B
入院患者	20名	11名
医師	1名	—
看護師	—	3名
介護福祉士	—	1名
合計	21名	15名

※第2報(12月21日)以降、入院患者23名、職員4名の感染が判明しています。

3 県の対応

- ・患者の健康観察の徹底と発熱等患者発見時の早期検査実施を指示
- ・職員の日常生活を含めての感染対策の徹底を指示

4 病院の対応(1月13日0時時点)

- ・関係箇所の消毒実施
- ・入院病棟Aの新規入院を休止(12月12日~1月12日)
- ・入院病棟Bの新規入院を休止(12月20日~1月6日)

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。